

# リズムあそび

—夏のあそびを中心として—



森 山 美 代 子

## 組の概況

五才児（二年保育年長・一年保育混合組）

一年保育児はほとんどの子どもが保育園生活を一年ないし二年経験してきているため、社会生活においてのいろいろな抵抗も少なく、経験の一つ一つをその子なりに取組んで、自分で処理し、精一ぱい努力してきている。しかし子どものほとんどが、長子、末子、一人子のため家庭においては期待をかけられ、過保護に育てられている。そのためすべての動作が緩慢で、何事も引っ込み勝ちの傾向にある。

## 思いつきのきつかけ

本園においては幼児のからだづくりについて昨年より研究し実践をつづけているわけですが、幼児期にからだを自由自在につかい、自分の気持をあらわすことができる基礎を養うことは大切なことである。幼児期に運動神経をのびた子は生涯が強いからだになり、反対にそれから遠ざかったり、禁じられた子は不器用な子どもになってしまうおそれがあるわけです。子どもは内臓や筋力こそ弱いですが、神経系統の面はまことにあなどりがたいものがあることを、充分知っていなければならぬ。子どもが神経を主体にしてやるような運動、（タイミング、バランス、リズム中心になったもの、例えばブランコ、ボールあそび、リズムあそび）などを好むのは当然で、園においてもこの方面のトレーニングは効果的であると考える。

子どもは暑さには弱く、しかも疲れ易いというように考えられ、ともすれば過保護になりやすい。もちろん暑さや疲労などには充分配慮しながらも、暑さの中で精一ぱいあそびせるといふことは大事なことである。そこで今回は夏の楽しい生活経験を、リズムあそびをとおして生き生きと表現されるよう指導していきたいと思う。

### ねらい

- 1 暑さの中で精一ぱいあそぶ。
- 2 リズムあそびをとおしてリズム感・敏捷性を養う。
- 3 誰とでも仲よくあそぶ。

### 用意するもの

とび箱・マット・タンブリン・レコード

### 導入

「先生、ぼくね、おとうさんとさかなつりにいったよ」  
「ぼくは、まさおさんと川へ行ってメダカとりをしたよ」  
「わたしはおうちの人と大社の浜へいったよ。おにいちゃん、  
じょうずにおよいだ」

「ぼくもおとうちゃんと海へ行って、ボートにのせてもらったよ」

「わたしね、おかあちゃんとおべんとうをもって丸子山へあがったよ」

など、わたしもぼくも得意げに話してくれる。日曜日の生活経験の発表の中からである。子どもたちの輝くまなざし、それぞれに夏のあそびを経験したり、友だちの話し合い、その他テレビなどで興味をもっている。そこで「今日は先生といっしょに海へいったり、山へのぼったりしてあそびましょう」と話し、いろいろなあそびを思い出し、積極的な自由表現を元氣一ぱいして楽しませる。

### 展開

〔舟こぎ〕（71頁楽譜参照）

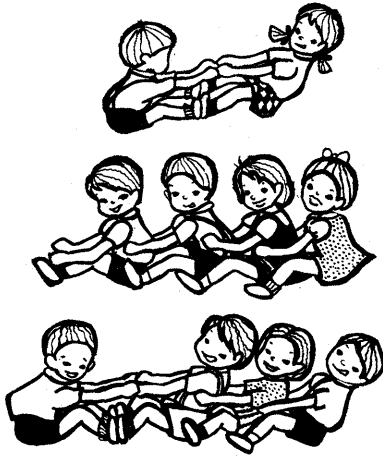
「おともだちと二人で舟をこいでみましょう」というと、二人組になり舟をこぐ。むき合っているもの、前後になってこぐものなどいろいろの表現をしている。前後に力を入れて、リズムのついていっしょうけんめいこがせるようにする。次第に二組がいっしょになって人数をふやし協同してこぐようにする。一番前の子

どもがかじをとり、残りの三人が力を合わせてこいでいるところ、ボートレースのようにならんでいるところなどそれぞれに工夫してやっている。かじをとるものを交替してやらせたり、時には早くこいだり、おそくこいだり、また初めは早くそして次第におそくしたり、この反対に行なわせたりして、変化をあたえると共にみんなと気持ちをあわせて動作させるよう指導する。

〔およぎ〕 (71頁楽譜参照)

「みんなで海へ入っておよいでみましょう」というと自由に手足を動かし床の海をおよぎまわる。リズムにのっておよぐもの、曲のアクセントも平気でおよぐものなどいるが、すっかり調子に

〔舟こぎ〕



のってまるで本物の海へ行ったような雰囲気である。

この時とび箱をとるところどこにおいておき、飛び込み台からとべるように用意しておく。足をバタバタさせるとき、友だちの頭をけるようなことがないように、およぐ方向などの配慮も必要である。できれば三拍子にのってリズムカルにおよげるよう徐々に指導したい。

〔魚つり〕

「こんどは静かに魚つりをしましょう」と話すと、「ぼく魚になるよ」「わたしも魚になるよ」「ぼく魚つるよ」とそれぞれに魚をつるものと、魚になるものとに分れて表現する。

やさしい魚もいるし、元気のよい魚はピンピンはねながら泳ぎまわっている。

「魚をつる人はしずかにしないと魚がにげてしまいますよ」というと「そうだよ、かずちゃんしずかにせーや」とそばから注意をあたえるものもいる。

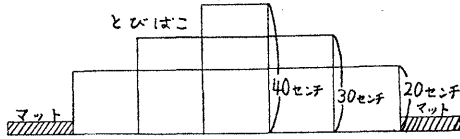
高いところからつり竿をなげてみたり、魚のたくさん泳いでいるところへ行ってつったり、いろいろな表現が目につく。また魚は上手なつり手にさそわれて次第に接近し、つられていくところもある。「ああ、けいじくんが魚つった」と思わず歓声がある。

ほんとうにほほえましい情景である。

この時子どもたちの動きに合った静かな曲をひいてやると一層効果があがるだろう。「めだかの学校」などもよい。

### 「山のぼり」

「海でだいぶあそんだから、こんどはみんなで山へのぼってみましょう」



とび箱をつかって左図のように階段をつくっておき、リズムにあわせながら山のぼりをさせる。とび箱の両側へマットをしいておき、活発な動きがあつてもとび箱が動かないよう安全な措置をとると共にマットもうまく利用させる。

「さあ二人手をつないで仲よくのぼりましょう」といって、*「仲よし小道」*のレコードをかけてやる。教師が歌ってやつてもピアノ伴奏でもよい。

「ゆるやかなところへきたから、かけ足でのぼってみましょう」汽車の曲をひいてやる。この時うしろから友だちをpushさないように適当な間隔をあけるよう指導が必要

である。

「急な坂道へきましたよ。はつてのぼりましょう」タンプリンで拍子をとってやり全身で動いてみる。この時「そのそくまきん」の歌をうたいながらタンプリンで拍子をとってやると、すっかりくまきんになりきって、のっそりのっそりと動いている。

子どもたちはあそびの中で自然に動きのアクセントや拍子感を得得することと思う。

「こんどは山の上であそびましょう」

両脚でジャンジャンとんで頂上までいったら、その上からとびおりの。子どもは高いところからとびおることが好きなので、大よろこびでやるが、この時脚の屈伸の指導を行なうようにする。

「蛙さんになってかるくとんでみましょう」

「とび下りた時、蛙さんのようにかるく手をつけてみましょう」など話し、教師がとんでみせることも必要である。

### まとめ

夏季の暑さの中にも、子どもたちの経験をとおしての表現活動は楽しみでいっぱいである。「すっかりあそんで疲れたから、お家へ帰ってお風呂へ入りましょう」といって、チョークで大きな円を床面にかく。子どもたちは大よろこびで、お風呂の中へ入っ

て汗を流す。

この時みんないっしょに手をつないで、教師が即興的に「お風呂へ入りましょう」と歌ってやると、子どもたちも口々にまねながら歌っている。平素だまって引っ込み勝ちの子どもも、ここに顔ではしゃいでいる。

お風呂で、耳の後を洗いましょう。手足もきれいに洗いましょう」と教師自ら洗ってみせると、子どもたちもいっしょうけんめいみながら洗っている。こうした細かい配慮も必要であろう。

子どもたちの身近な経験をとり入れてやると、そのよるこびもひとしおである。教師との肌のふれ合い、親近感もわいて、すっかり満足している。こうしてお風呂の中で休養をとりながらあそびの反省をする。

### 反省・評価

以上のべてきた私の実践については、健康と音楽リズムの領域にまたがっていて、少し鍛練しすぎた感はあるが、幼児の興味ある教材を取り入れたので、あまり疲労感もなく、一人一人が楽しみながらあそぶことができた。

今日の複雑な社会情勢の中にあつては、外から加わる力が強ければ強いほど子どもの「耐容力」を強くしなければならぬ。こ

の外からの力をうけとめる子どもの内部の力を強めるよう、幼児期において鍛練をし、子どもたちの自分からする範囲をひろげていかなければならない。

しかし何といつても幼児一人一人をみつめ、発達段階に応じて指導を行なわなければならないことをつけ加えておく。

### その他

本園においては、すべての運動能力を伸ばす基礎となり、リズム感を養うため、歩行練習を生活時程にとり入れたたり、扁平足調査の結果、幼児には扁平足が意外に多いことがわかり、矯正体操を実施したり、室内外共になるべく素足であそばせるようにしたり、六月から十月まで上ぐつを使用しないようにしている。

また幼児期における健康の基礎育成は一生に通ずる大切な問題であるが、園生活・家庭生活・社会生活など、こどもの生活も多岐にわたたり、園のみでは処理できない問題が多々あります。そこで本園においては保健委員会を結成し、保健問題について種々検討を加え対策を講じている。

例えば、環境の検討（川あそび・園庭の安全など）園舎内の照明度検査・血液型検査・その他。

# 保 健 計 画 表

月	一 般 行 事	園 行 事	保 健 計 画
4	結核予防デー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入 園 式</li> <li>・家 庭 訪 問</li> <li>・P. T. A. 地方委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健 康 診 断</li> <li>・歯 牙 検 査</li> <li>・歩 行 訓 練</li> </ul>
5	憲法記念日 交通安全の日 母の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家 庭 訪 問</li> <li>・小 学 校 体 育 会 参 加</li> <li>・遠 足</li> <li>・ツ反注射. B. C. G.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避 難 訓 練</li> <li>・身 体 測 定 査</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>
6	口腔衛生週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園 外 保 育</li> <li>・レントゲン間撮</li> <li>・保 健 委 員 会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがき訓練</li> <li>・梅雨期保健指導</li> <li>・扁平足調査</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>
7	安 全 週 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日脳予防注射</li> <li>・大 掃 除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動能力テスト</li> <li>・扁平足矯正体操</li> <li>・救急法講習</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・避 難 訓 練</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>
9	としよりの日 秋 分 の 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保 健 委 員 会</li> <li>・P. T. A. 地方委員会</li> <li>・小 学 校 親 子 運 動 会 に 参 加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行訓練(交通安全)</li> <li>・運動能力テスト結果処理</li> <li>・環境整備</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>
10	目の愛護デー 寄生虫予防週間 結核予防週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠 足</li> <li>・親 子 運 動 会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視 力 検 査</li> <li>・う が い 指 導</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>
11	文化の日 交通安全週間 敬老の日 勤労感謝の日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園 外 保 育</li> <li>・インフルエンザ予防注射</li> <li>・学 習 発 表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩 行 訓 練</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・検 便 実 施</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>
12	防火強調週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大 掃 除</li> <li>・ク リ ス マ ス</li> <li>・ジフテリア予防接種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避 難 訓 練</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・衛 生 検 査</li> <li>・冬 季 保 健 指 導</li> </ul>
1	成 人 の 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保 健 委 員 会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩 行 訓 練</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>
2	節 分 火災予防運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豆 ま き</li> <li>・就学前健康診断</li> <li>・定 期 種 痘</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避 難 訓 練</li> <li>・衛 生 検 査</li> <li>・身 体 測 定</li> </ul>
3	ひなまつり 春 分 の 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お 別 れ 会</li> <li>・修 了 式</li> <li>・入園前健康診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机、腰掛整備</li> <li>・環 境 整 備</li> <li>・身 体 測 定</li> <li>・衛 生 検 査</li> </ul>

(島根県 大東幼稚園)

# 舟　こ　ぎ

♩ = 108 位

First system of musical notation for 'Fune Kogi'. It consists of a grand staff with a treble clef and a bass clef. The key signature has two flats (B-flat and E-flat), and the time signature is 2/4. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef.

Second system of musical notation for 'Fune Kogi'. It continues the melody and accompaniment from the first system.

Third system of musical notation for 'Fune Kogi'. It concludes the piece with a double bar line.

# お　よ　ぎ

♩ = 112

First system of musical notation for 'Oyogi'. It consists of a grand staff with a treble clef and a bass clef. The key signature has two flats (B-flat and E-flat), and the time signature is 3/4. The melody is in the treble clef, and the accompaniment is in the bass clef.

Second system of musical notation for 'Oyogi'. It continues the melody and accompaniment from the first system.

Third system of musical notation for 'Oyogi'. It concludes the piece with a double bar line.